☆☆54　比較（原級の否定文）

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

現在の文で、**主語が三人称単数（I、you 以外の１人）**のとき、**be 動詞は is** とし、**一般動詞には s または es をつける。**
（例）He likes TV.（例）Does he play tennis？（例）He doesn't like TV.

英文には、必ず動詞が１つある。つまり、**be 動詞と一般動詞は、一緒に使えない。**

原級の文を 否定文 にすると、**主語は、相手ほど…ない**。と訳す。

原級の否定文の作り方。
「～ほど…ない」という否定文に出会ったら？
ステップ１：「～と同じくらい…です。」の文を作る。日本文で。
ステップ２：その日本文を、**as…as** の英文にする。
ステップ３：その英文を、否定文にする。
（例）私は亜紀ほど、忙しくありません。
ステップ１：私は、亜紀と同じくらい忙しいです。
ステップ２：**I am as busy as Aki.**
ステップ３：**I am not as busy as Aki.**

問題２８５　文を完成させなさい。

(1) 私は太郎ほど、忙しくありません。

ステップ１→「～と同じくらい…です。」の文にする。

私は、太郎と［　　］です。

ステップ２→ステップ１を、英文にする。

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿.

ステップ３→ステップ２を、否定文にする。

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿.

(2) 彼は私ほど、速く走りません。

ステップ１

彼は、［　　］。

主語が **he** で、一般動詞（走ります）の文ですね。

その否定文ですので、**isn't** か **don't** か **doesn't** のうち、どれを使いますか。

ステップ２

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿.

ステップ３

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿.

中学生は、５科目合計点で考えます。
たとえば、目標を３００点にした場合。

入試５００点のうち、３００点を目標にすると、１科目あたり６０点です。よって、プラスマイナスで６０点。ここを目標に、５科目を配分すればいいわけです。英語を８０点取れる自信があれば、数学は４０点でよい、のようにです。

「英語の長文苦手だな。でも理科社会は７０点ずつ取れるかも」と思えるならば、「英語と国語の長文、半分取れれば大丈夫。」と思えます。結果、この気持ちのおかげで、テスト当日、リラックスした状態で、苦手と向き合えます。

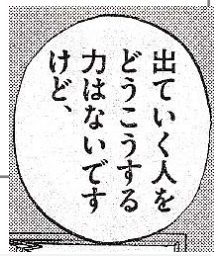
このように、目標点を決め、その内訳を描くことで、本来の力１００％を発揮できるとともに、苦手にも余裕を持って立ち向かえます。

客観的な数字（現在の能力値と、これまでの経験から想像できる予想点数）を冷静に考える時間を、ぜひ作ってみてください。

「自分を知る。」ということは、自信を与えてくれます。さらに、「ぼくは（私は）こんなところが得意だったのか。」「空間図形と連立の文章題が苦手でも、得意な一次関数と証明でカバーすれば、目標の６０点を達成できそうだ。」と、プラスの未来を示してくれます。

「全部に勝ちたい」という気持ちを置いておき、全部じゃなくても、「自分の好きなもの」で勝って、自分が満足する結果を残したい。

こう思う考え方、あなたに合いますか？トータルで目標を越えれば OK という作戦です。ぜひ、参考にしてみてください。



出典「トクサツガガガ」
丹羽庭氏　小学館　より

逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。

☆☆54　比較（原級の否定文）

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

英文は、「主語＋動詞～」でできている。
（例）The book on the desk is mine.（机の上にある本は、私のものです。）
これ全部が主語　　動詞　　※「動詞の前のすべて」が主語と考える。

Who makes dinner？（誰が夕食を作りますか。）疑問詞の主語は、三人称単数となる。

原級の文を 否定文 にすると、**主語は、相手ほど…ない**。と訳す。

原級の否定文の作り方。

ステップ１：「～と同じくらい…します。」の文を作る。日本文で。

ステップ２：その日本文を、as…as の英文にする。

ステップ３：その英文を、否定文にする。

（例）彼は彼女ほど、速く歩きません。
ステップ１：彼は、彼女と同じくらい速く歩きます。
ステップ２：He walks as fast as she.
ステップ３：He doesn't walk as fast as she.

問題２８６　文を完成させなさい。

(1) 私は太郎ほど、背が高くありません。

ステップ１→「～と同じくらい…です。」の文にする。

私は、太郎と［　　］です。

ステップ２→ステップ１を、英文にする。

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿.

ステップ３→ステップ２を、否定文にする。

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿.

(2) 彼は私ほど、速く走りません。

ステップ１　彼は、［　　］。

ステップ２

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿.

ステップ３　→

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿.

(3) 彼女は私ほど、たくさんペンを持っていません。

ステップ１　彼女は、［　　］。

ステップ２

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿.

ステップ３　→

＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿.

定期テストや入試対策、うまく行く方法があります。頑張る順番があります。

受験勉強、どう進めていますか？もしかしたらあなたも、「中１内容の最初から」やろうと思っていませんか？定期テストならば、「範囲の最初から」やっていませんか？

数学を除いた４科目（国英理社）は、必ずしも教科書に出てきた順番に頑張る必要はありません。「頑張ればできるようになりそう」と思えるところから取り組むことを、強くお勧めします。

今度の理科の定期テスト、「天気」と「化学変化」が範囲だとします。

「化学変化」は得意分野ですか？もし苦手ならば、「テスト勉強、天気から始めようかな…」と考えること、ありです。英語もそうです。「英語苦手」と、大きくくくるのではなく、「テスト範囲の英単語、全部書けるようになるぞ」、というように、勉強内容を分解してほしいのです。

こう考えることで、勉強時間や努力に比例して成果につながるところが、どんどん出てきます。

出典「トクサツガガガ」
丹羽庭氏　小学館　より

泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。

☆☆54　比較（原級の否定文）

四角語句を、線の上に練習するでごんすよ。

英単語の覚え方：**ローマ字読みで覚える。**
book は「ボオク」、China は「チナ」、write は「ワリテ」のように。
これを２回、紙に書く。そして３回目は、何も見ないで書いてみよう（自分テスト）。

be 動詞：です。います。あります。
主語が複数なら are、三人称単数は **is**。

問題２８７　文を完成させなさい。

(1) 私は太郎ほど、背が高くありません。

＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿ tall as Taro.

(2) 私は彼ほど、早く起きません。

I ＿＿＿＿＿ get up ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ as he.

(3) 私は彼ほど、速く走りません。

I ＿＿＿＿＿ run ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ as he.

(4) 亜紀は私ほど、早く起きません。

Aki ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ .

(5) 彼は私ほど、たくさん本を持っていません。

He ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ .

原級の否定文の作り方。
「～ほど…しない」という否定文に出会ったら？

ステップ１：「～と同じくらい…します。」の文を、余白に作る。日本文で。
ステップ２：その日本文を、**as…as** の英文にする。
ステップ３：その英文を、否定文にする。

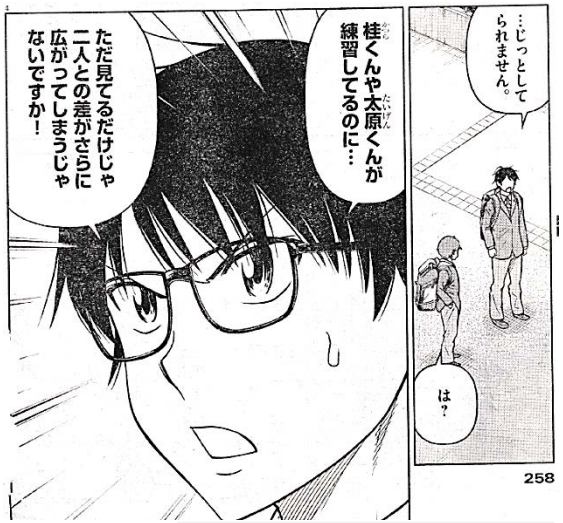
（例）彼女は太郎ほど、たくさん水を飲みません。
　１：彼女は太郎と同じくらい、たくさん水を飲みます。
　２：**She drinks as much water as Taro.**
　３：**She doesn't drink as much water as Taro.**

「単語完璧になった」「化学反応式、全部書けるようになった」、これが大切です。

「できるようになりそうなところ」を探して、そこから頑張るのが大切です。ポイントは、「英単語だけで大丈夫かな？」「天気ばかりでいいのかな？」と、考えないことです。

心配せずに、「頑張ればできるようになりそう」なところに集中してください。そこが自分のものになれば、自信となり、「よ～し、苦手な○○にも、いっちょ挑戦してみるかな」と、前向きな気持ちになれるはずです

「化学式、大きさってあるんだ～」
これは塾生の言葉です。酸化銅 **CuO** の **C** と **O** は大文字で、**u** は小文字です。このように、大文字小文字があるという発想、知らない子がいます。定期テストで×になって初めて知る。そうならないためにも、今きっちり覚えておいてください。



出典「あの月に向かって打て！」
寒川一之氏　小学館　より

● 挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。

今日の勉強、よく分からないや…。
そう思ったら、きっとチャンスです。

「今日の学校の授業、ちょっと難しかったな…」と思ったら、きっとクラスの同級生たちも、難しかったと感じているはずなのです。だから、きっちり復習した人だけが、できるようになるのが勉強です。

だってそうでしょう？もしあなたが１回聞くだけで分かる、１回読んだだけで分かるところならば、他の子もきっと、１回で分かりそうだと思いませんか。

だから、「おっ？今日の勉強、難しいや。全然分からないぞ、やった～！」というのは、ちょっと大げさですが、「分からない」「できない」時は、自分だけじゃないんだ、と思ってください。苦手な事ほどこのように、前向きに考えてほしいです。

出典「史上最強の弟子ケンイチ」
松江名俊氏　小学館　より

英単語の覚え方：教科書の余白に、そのページの難しい「英単語と意味」を、セットで書きこむのです（予習で）。**そのページに出てくる分からない単語は、そのページ内のどこかに、すでにある**ことで、復習や単語の暗記がすぐできます。

私（塾長）も、**３２ページの単語テスト、５分後にするよ**。と言いやすいです。

５４　比較（原級の否定文）［解答］

［解答］比較（原級の否定文）　５４

問題２８５

(1)ステップ１　同じくらい忙しい
ステップ２　I am as busy as Taro
ステップ３　I'm not as busy as Taro

(2)ステップ１　私と同じくらい速く走ります
ステップ２　He runs as fast as I
ステップ３　He doesn't run as fast as I

問題２８６

(1)ステップ１　同じくらい背が高い
ステップ２　I am as tall as Taro.
ステップ３　I'm not as tall as Taro.

(2)ステップ１　私と同じくらい速く走ります
ステップ２　He runs as fast as I
ステップ３　He doesn't run as fast as I

(3)ステップ１　私と同じくらい、たくさんペンを持っています
ステップ２　She has as many pens as I
ステップ３　She doesn't have as many pens as I

問題２８７

(1)I'm not as (2)don't / as early (3)don't / as fast
(4)doesn't get up as early as I (5)doesn't have as many books as I

● 不安なのは、勝つ可能性があるから。PK をはずしたのは、蹴る勇気があったから。